

第21回 研究報告会を開催しました

令和元年10月31日に福井大学文京キャンパスにおいて、第21回研究報告会を同大学との共催で開催しました。

この研究報告会は、エネ研の研究活動を広くご理解いただくために毎年開催しています。

今回は、特別講演として、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の長嶺敬先生を講師にお招きし、もち麦の突然変異品種である『はねうまもち』についてご講演いただきました。

エネ研からは畑下主幹研究員が、優れた熱安定性・機械的強度・耐薬品性・耐放射線性を持つポリイミドによる高分子ファイバーの開発について、高城生物資源研究室長が種子の組織としての放射線応答を調べるための種子胚透明化の試みについて発表しました。

また、エネ研との共同研究として、名城大学の土屋文教授が「大気雰囲気型反跳粒子検出法を用いたラジカル含有リチウム酸化物の常温水分解による水素生成機構の解明」、福井県立大学の三浦孝太郎准教授が「イオンビーム照射による山田錦のテーラーメイド育種ライブラリの開発と福井県に適した「新山田錦」の育成」、福井大学の松本英樹准教授が「陽子線頭頸部がん治療における放射線性口腔粘膜障害の発症動態および病態の解析」についてそれぞれ発表しました。

このほか、ポスター展示ではエネ研の研究や産業支援の成果を発表しました。



エネ研石塚理事長の挨拶



福井大学上田学長の挨拶



エネ研岩瀬所長の閉会挨拶



長嶺先生による特別講演



発表の様子



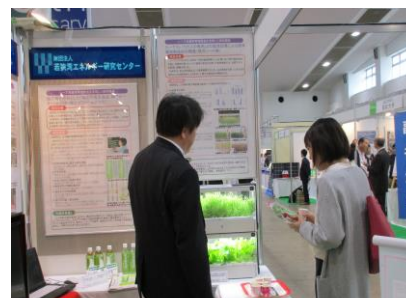
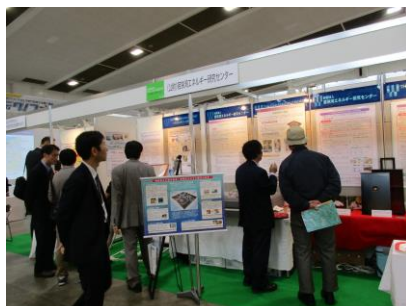
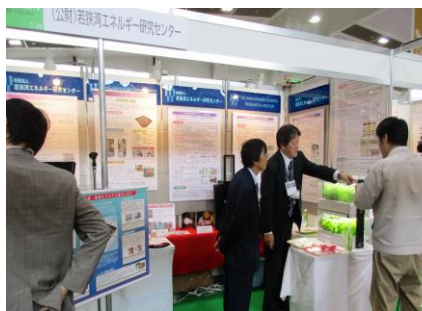
ポスターセッションでの意見交換

北陸技術交流テクノフェアに出展しました

企業・大学・研究機関・団体などが出展する北陸最大規模の総合技術展示商談会である「北陸技術交流テクノフェア2019」が、令和元年10月24・25日に福井県産業会館で開催され、県内外180社・団体が出展しました。

エネ研ブースにおいては、水素吸蔵合金など「水素」に関する研究を紹介したほか、太陽炉「はんたか」や「加速器」模型の展示、県内企業がエネ研の支援事業を活用して開発した新製品を展示・紹介するなど、多くの方々にエネ研の幅広い活動を紹介することができました。

なお、12月14日にはきらめきみなと館（敦賀市）で「つるが環境フェア」にも出展いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。



北陸技術交流テクノフェア2019の様子

高志中学校の生徒がエネ研で研修を行いました

福井県立高志中学校の1年生90名が、令和元年11月6日に授業の一環として、エネ研でエネルギー研修を受けました。

エネ研の職員の指導の下、3つのクラスに分かれ、エネ研の概要説明、太陽炉の説明とマグネシウムによる水素の発生実験、科学機器の操作実習を行いました。

生徒たちにとって、大いにエネルギーや科学に興味を持つ貴重な体験となりました。



エネ研の概要説明



太陽炉の説明



水素の実験



科学機器の操作実習

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。本誌の記事でご紹介する場合もあります。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。

郵便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail : kikakushien@werc.or.jp TEL : 0770-24-7270 FAX : 0770-24-7275

